

道路利用者アンケートの概要

松ノ木島交差点・八条白鳥交差点の各交差点が抱える課題に対し、道路利用者の実感、その他課題と感ずる箇所及び対策（案）の有効性について各交差点周辺の企業に対しアンケート調査を実施しました。

【アンケート概要】

○アンケート期間

平成23年1月14日～2月18日

○アンケート対象

各交差点周辺企業（八条白鳥交差点：126社、松ノ木島交差点：135社）

※埼玉県安全運転管理者協会及び社団法人埼玉県トラック協会にご協力いただき調査を実施

○アンケート方式

郵送回収方式（各企業に対しアンケート票を3票郵送）

○回答状況

八条白鳥交差点：66社回答（合計151票）、回収率52%

松ノ木島交差点：61社回答（合計126票）、回収率45%

○アンケート様式

アンケート様式の構成は、各交差点の位置、課題及び対策（案）を提示し、その内容についてアンケートを実施。

- ・アンケート回答者の属性（性別・年齢層・交差点の通行頻度）
- ・交差点の課題の実感状況について
- ・対策（案）について
- ・交差点の改善点及び事業評価の必要性・今後の事業の進め方について

アンケート用紙については参考資料1に添付

皆さんの意見をお聞かせください。 ～国道298号「八条白鳥交差点」の交通事故安全対策について～

国土交通省北首都国道事務所では、国道298号「八条白鳥交差点（八潮市大字八条）」において、安全性の向上防止及び交通の円滑化を目的とした交通事故安全対策の検討を行っています。

課題の抽出や対策案の検討にあたり、実際に交差点を利用いただいている皆様が日頃どのように感じているか等を把握するため、アンケート調査にご協力いただきたくお願い申し上げます。

お手数ですが調査票はアンケート記入後、**平成23年2月4日（金）**までに、投函のほどよろしくお願いいたします。

なお、ご回答頂きました内容につきましては、統計的に処理を行い、ご回答者の皆様に一切ご迷惑をかけることは致しません。

アンケートの記入方法

- 1.2ページに八条白鳥交差点が抱える課題と対策（案）を記載しましたのでご覧ください。
- 2.3ページ～4ページのアンケート調査票にご記入願います。
- 3.同封した返信用封筒にて投函をお願いいたします。

アンケート調査に関するお問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所 管理課 佐々木

TEL：048-941-4610

アンケート調査委託機関：大日コンサルタント株式会社 都市・交通計画部

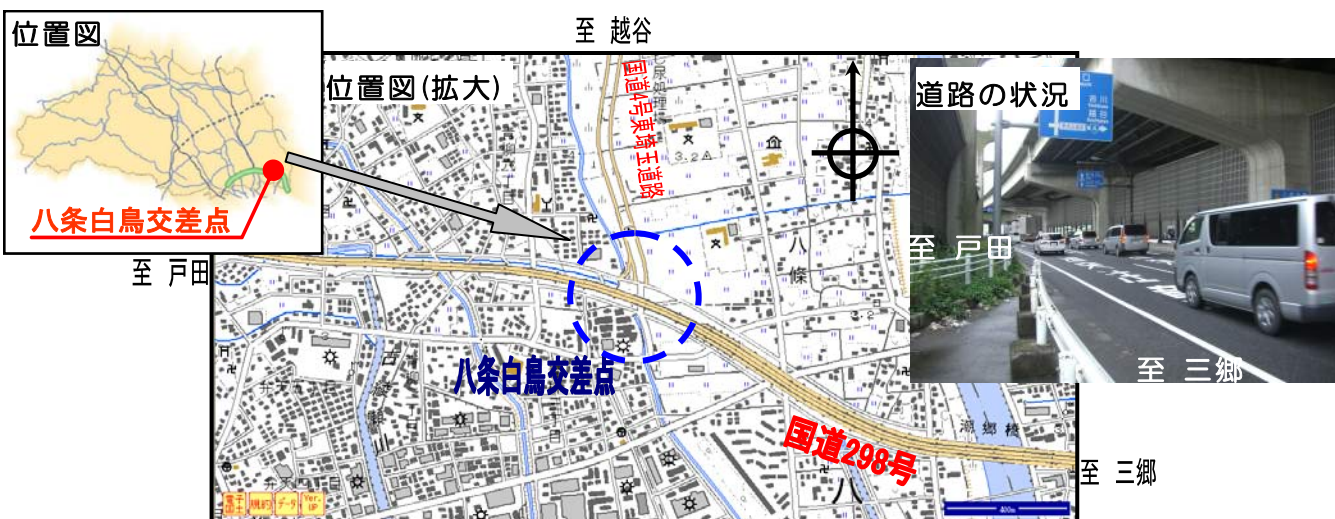
参考：北首都国道事務所では、交通事故の危険性が高い区間について、地域の皆様や学識経験者等様々な分野から構成される「国道298号交通事故安全対策検討会」を設立し「八条白鳥交差点」についても検討しております。

詳しくは北首都国道事務所ホームページをご覧ください。

URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kitasyuto/>

八条白鳥交差点について

八条白鳥交差点は、埼玉県草加・八潮市境にある国道298号と国道4号東埼玉道路との交差点です。近年は越谷レイクタウンの開業により当該交差点の交通量の増加が見られます。



八条白鳥交差点周辺における課題について

【交通事故が多発しています】

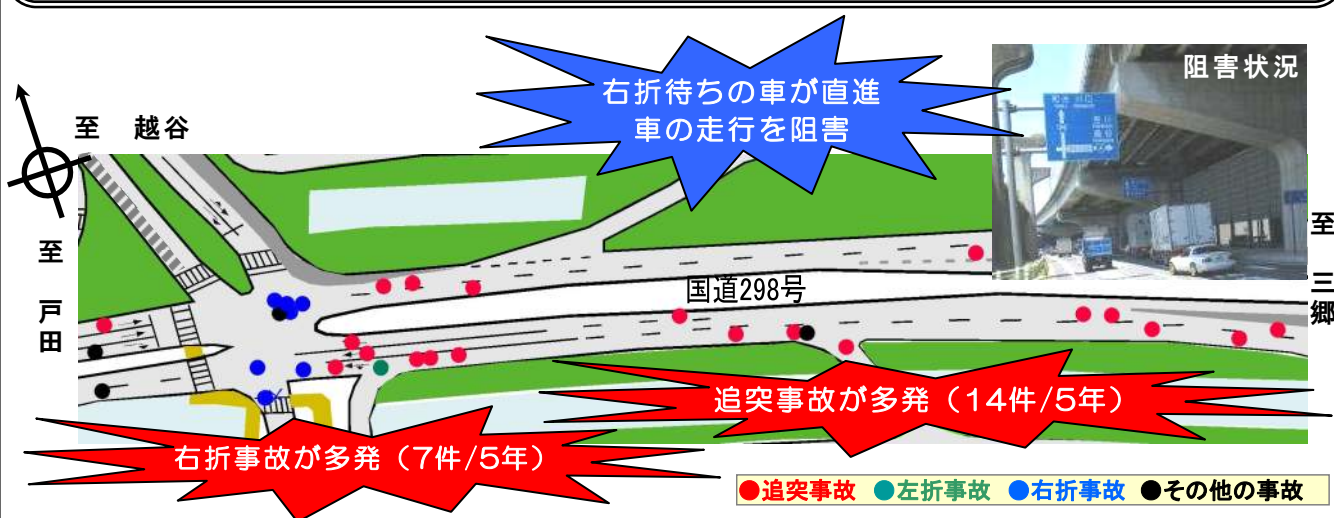
⇒過去5年間（17～21年）で31件の事故（死傷事故）が発生しています。特に交差点内での右折事故や内回り（戸田方面）で追突事故が多く発生しています。

⇒右折事故は、対向する直進車が見えにくいことが主な原因です。

追突事故は、交差点を左折するために減速した車両への衝突や、見通しのよい直線道路のため、車の速度が高くなりやすいこと等が主な原因です。

【近年交通量が増加しています。】

⇒越谷レイクタウン（H20.10月開業）等に向かう交通の増加により、交通量が多い時間帯では右折車両が右折レーンからはみ出し、直進車の走行を阻害しています。



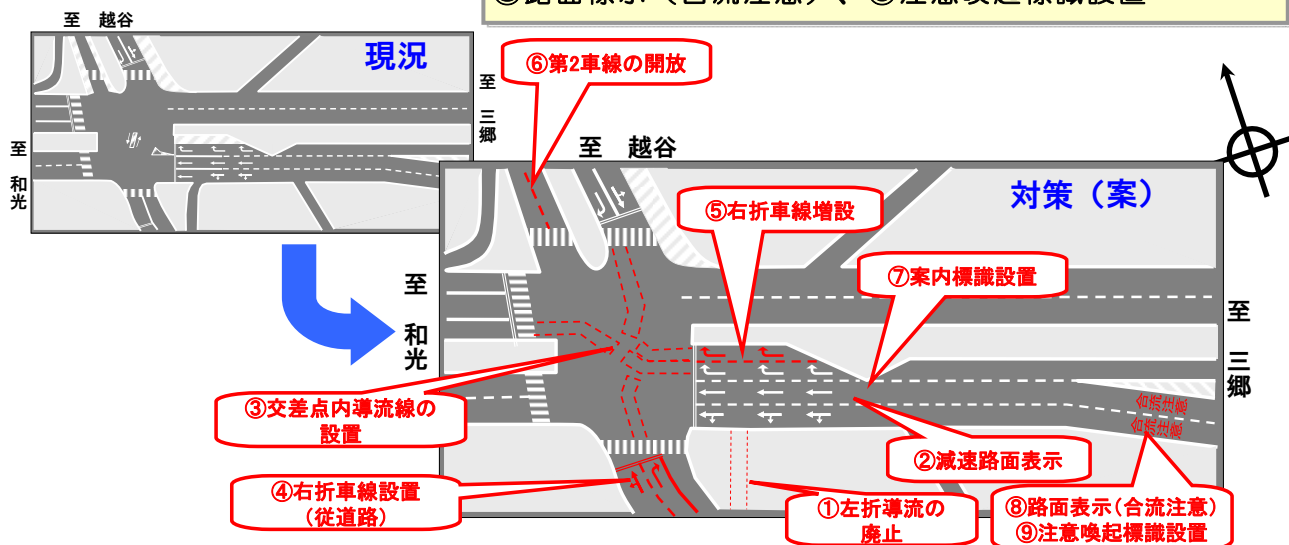
このような状況に対して、以下の対策（案）を考えています。

対策の目的

交通事故を減らす

交通をスムーズにする

- ①左折導流路の廃止、②減速路面標示、
- ③交差点内導流線の設置、④右折車線設置（従道路）、
- ⑤右折車線増設、⑥第2車線の開放、⑦案内標識設置、
- ⑧路面標示（合流注意）、⑨注意喚起標識設置



アンケート調査票

あてはまる番号を選び、番号に○をつけて下さい。

I. あなたご自身についてお聞きします。

問1. あなたの性別についてお答え下さい。

1. 男 2. 女

問2. あなたの年齢についてお答え下さい。

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳以上

問3. あなたは普段八条白鳥交差点をどの程度通行されますか。

1. ほぼ毎日通行 2. 週に数日通行 3. 月に数回 4. ほとんど通行しない

II. 八条白鳥交差点の課題についてお聞きします。

問4. 八条白鳥交差点における課題についてお尋ねします。

課題1：多発する交通事故 課題2：増加する交通量

問4-1. 課題1（多発する交通事故）についてどのように感じられていますか。

1. 大変気になっている 2. 気になっている 3. あまり気にならない
4. まったく気にならない 5. わからない

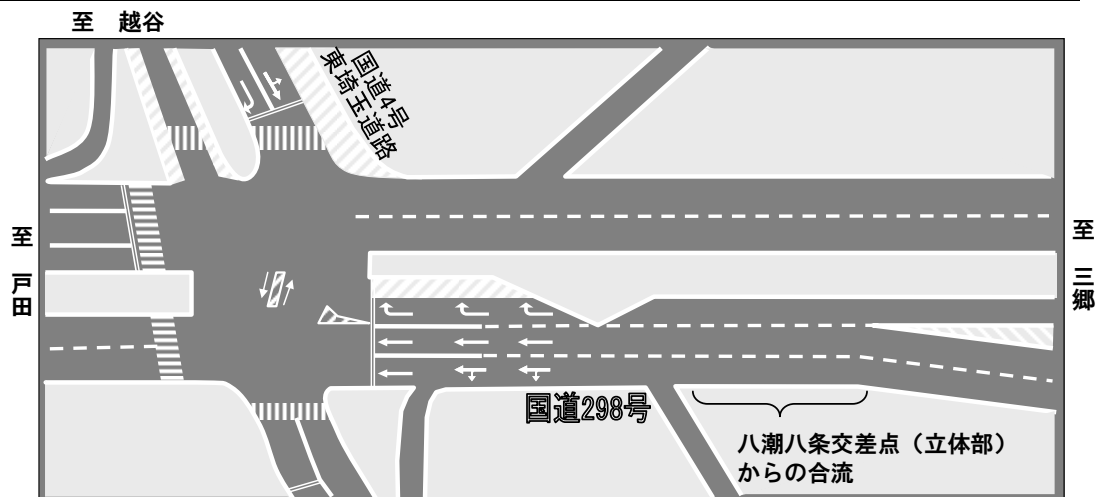
問4-2. 課題2（増加する交通量）についてどのように感じられていますか。

1. 大変気になっている 2. 気になっている 3. あまり気にならない
4. まったく気にならない 5. わからない

問5. 八条白鳥交差点を通行する際に、2ページで掲載した以外の課題はございますか。

（例：交通事故にはなっていないが、ヒヤリとした危険な体験をされた箇所 など）

問5-1. 課題がある場合は、課題とを感じる箇所について下図に○をご記入ください。



問5-2. 問5-1で「○」をご記入いただきました内容について具体的にご記入ください。

（記入例：交差点内でどの方向に進めばいいかわからず車両に衝突しそうになった など）

Ⅲ. 八条白鳥交差点における対策（案）の内容についてお聞きします。

問6. 2ページに掲載しました八条白鳥交差点で検討している課題に対する対策（案）についてお尋ねします。

問6-1. 2ページに掲載しました課題に対する対策（案）は有効であると思われますか。

1. 大変効果があると思う 2. 効果があると思う
3. あまり効果がないと思う 4. まったく効果が期待できない 5. わからない

問6-2. 2ページに掲載した対策（案）に関するご意見や、課題を解決するためのご提案などがございましたら、ご記入ください。

[]

Ⅳ. 八条白鳥交差点の改善点及び事業評価の必要性・今後の事業の進め方についてお聞きします。

問7. 国土交通省では今後もこのようなアンケート調査を行い、道路利用者・地域住民の方々の声を基に道路事業や事業実施後の評価を進めていくことを考えています。道路利用者・地域住民の方々の声を基にした事業の進め方をどのように思われますか。

1. 必要だと思う 2. どちらともいえない 3. 必要だと思わない 4. わからない

問8. その他、ご意見がございましたらお聞かせ下さい。

[]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

皆さんの意見をお聞かせください。

～国道298号「松ノ木島交差点」の交通事故安全対策について～

国土交通省北首都国道事務所では、国道298号「松ノ木島交差点（和光市新倉）」において、安全性の向上及び交通の円滑化を目的とした交通事故安全対策の検討を行っております。

課題の抽出や対策案の検討にあたり、実際に交差点を利用いただいている皆様が日頃どのように感じているか等を把握するため、アンケート調査にご協力いただきたくお願い申し上げます。

お手数ですが調査票はアンケート記入後、**平成23年2月18日（金）**までに、投函のほどよろしくお願いいたします。

なお、ご回答頂きました内容につきましては、統計的に処理を行い、ご回答者の皆様に一切ご迷惑をかけることは致しません。

アンケートの記入方法

- 1.2ページに松ノ木島交差点が抱える課題と対策（案）を記載しましたのでご覧ください。
- 2.3ページ～4ページのアンケート調査票にご記入願います。
- 3.同封した返信用封筒にて投函をお願いいたします。

アンケート調査に関するお問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所 管理課 佐々木

TEL：048-941-4610

アンケート調査委託機関：大日コンサルタント株式会社 都市・交通計画部

参考：北首都国道事務所では、交通事故の危険性が高い区間について、地域の皆様や学識経験者等様々な分野から構成される「国道298号交通事故安全対策検討会」を設立し「松ノ木島交差点」についても検討しております。

詳しくは北首都国道事務所ホームページをご覧ください。

URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kitasyuto/>

松ノ木島交差点について

松ノ木島交差点は、埼玉県和光市にある国道298号と国道254号和光富士見バイパスの起点の交差点です。朝夕では交通の混雑が見られます。

位置図



道路の状況



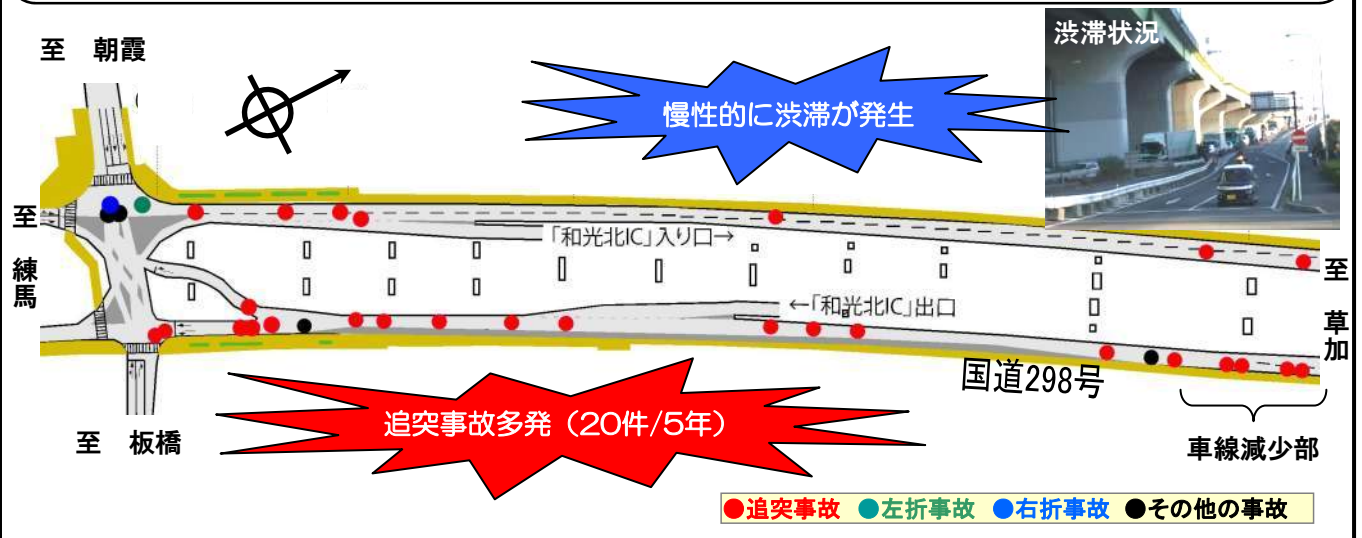
松ノ木島交差点周辺における課題について

【慢性的に交通渋滞が発生しています】

⇒右折車線の車が直進車線まで延び、直進車の走行を阻害することが主な原因により、慢性的な渋滞が発生しています。

【交通事故が多発しています】

⇒追突事故が集中して発生（過去5年間：17～21年で20件（死傷事故））しています。
⇒渋滞時に車間が狭くなることや、渋滞時以外では、見通しのよい下り坂の直線道路のため、車の速度が高くなりやすく、止まれずに前方車両に衝突することが主な原因です。



このような状況に対し、以下の対策（案）を考えています。

対策の目的

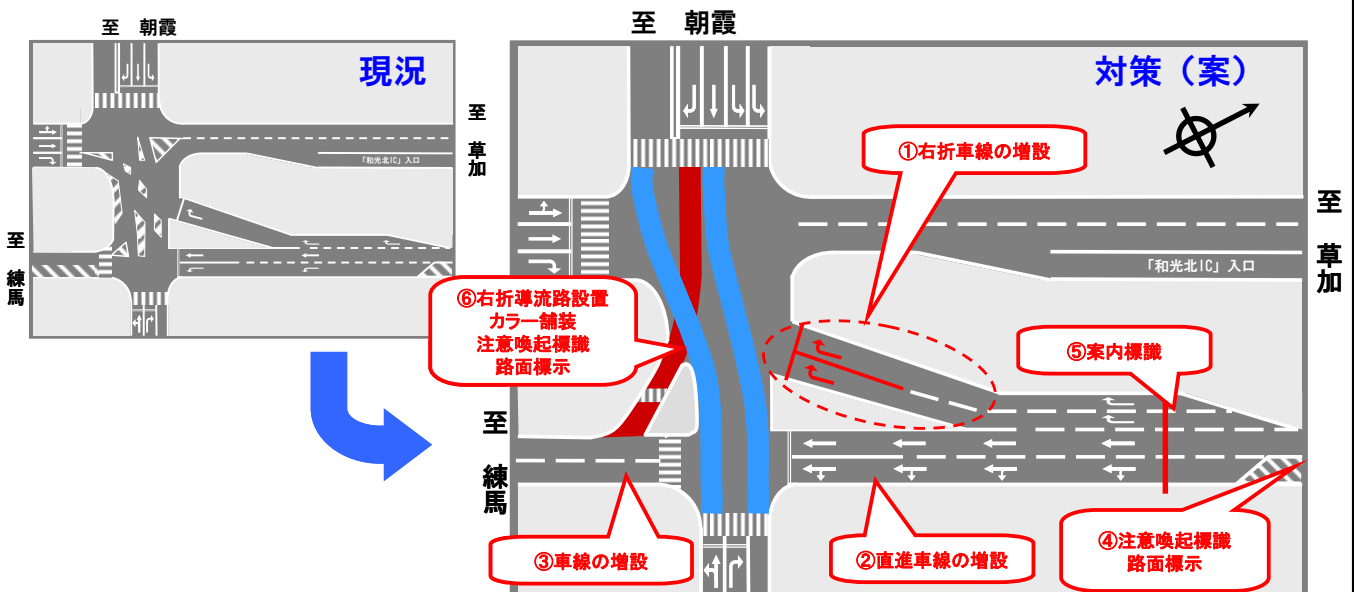
渋滞を減らす

交通事故を減らす

①右折車線増設、②直進車線増設、③車線の増設

④注意喚起標識・路面標示、⑤案内標識・予告案内標識

⑥右折導流路設置、カラー舗装、注意喚起標識・路面標示



アンケート調査票

あてはまる番号を選び、番号に○をつけて下さい。

I. あなたご自身についてお聞きします。

問1. あなたの性別についてお答え下さい。

1. 男 2. 女

問2. あなたの年齢についてお答え下さい。

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳以上

問3. あなたは普段松ノ木島交差点をどの程度通行されますか。

1. ほぼ毎日通行 2. 週に数日通行 3. 月に数回 4. ほとんど通行しない

II. 松ノ木島交差点の課題についてお聞きします。

問4. 松ノ木島交差点における課題についてお尋ねします。

課題1：慢性的な交通渋滞が発生 課題2：多発する交通事故

問4-1. 課題1（慢性的な交通渋滞）についてどのように感じられていますか。

1. 大変気になっている 2. 気になっている 3. あまり気にならない
4. まったく気にならない 5. わからない

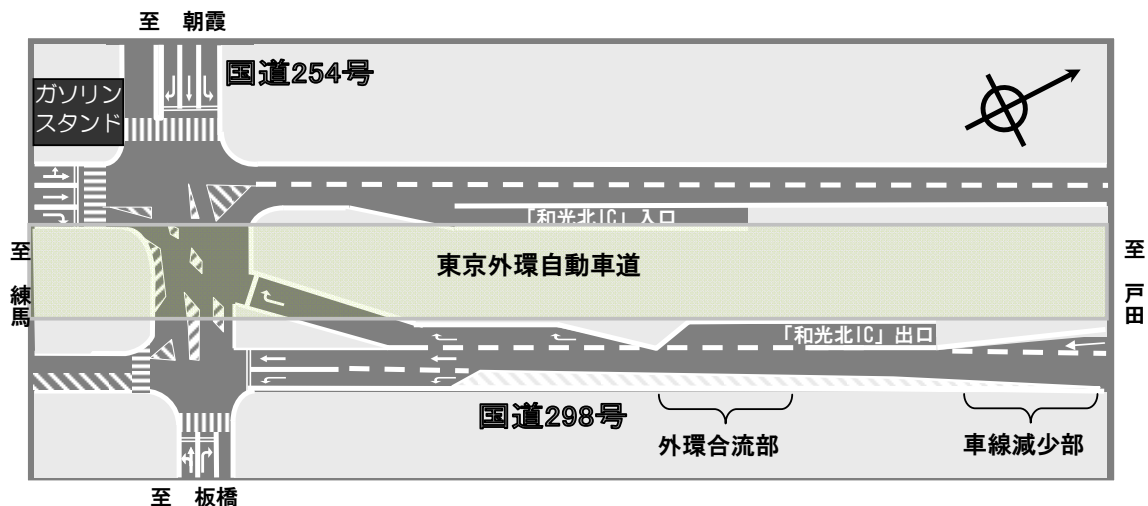
問4-2. 課題2（多発する交通事故）についてどのように感じられていますか。

1. 大変気になっている 2. 気になっている 3. あまり気にならない
4. まったく気にならない 5. わからない

問5. 松ノ木島交差点を通行する際に、2ページで掲載した以外の課題はございますか。

（例：交通事故にはなっていないが、ヒヤリとした危険な体験をされた箇所 など）

問5-1. 課題がある場合は、課題とを感じる箇所について下図に○をご記入ください。



問5-2. 問5-1で「○」をご記入いただきました内容について具体的にご記入ください。

（記入例：交差点内でどの方向に進めばいいかわからず車両に衝突しそうになった など）

Ⅲ. 松ノ木島交差点における対策（案）の内容についてお聞きします。

問6. 2ページに掲載しました松ノ木島交差点で検討している課題に対する対策（案）についてお尋ねします。

問6-1. 2ページに掲載しました課題に対する対策（案）は有効であると思われますか。

1. 大変効果があると思う 2. 効果があると思う
3. あまり効果がないと思う 4. まったく効果が期待できない 5. わからない

問6-2. 2ページに掲載した対策（案）に関するご意見や、課題を解決するためのご提案などがございましたら、ご記入ください。

[]

Ⅳ. 松ノ木島交差点の改善点及び事業評価の必要性・今後の事業の進め方についてお聞きします。

問7. 国土交通省では今後もこのようなアンケート調査を行い、道路利用者・地域住民の方々の声を基に道路事業や事業実施後の評価を進めていくことを考えています。道路利用者・地域住民の方々の声を基にした事業の進め方をどのように思われますか。

1. 必要だと思う 2. どちらともいえない 3. 必要だと思わない 4. わからない

問8. その他、ご意見がございましたらお聞かせ下さい。

[]

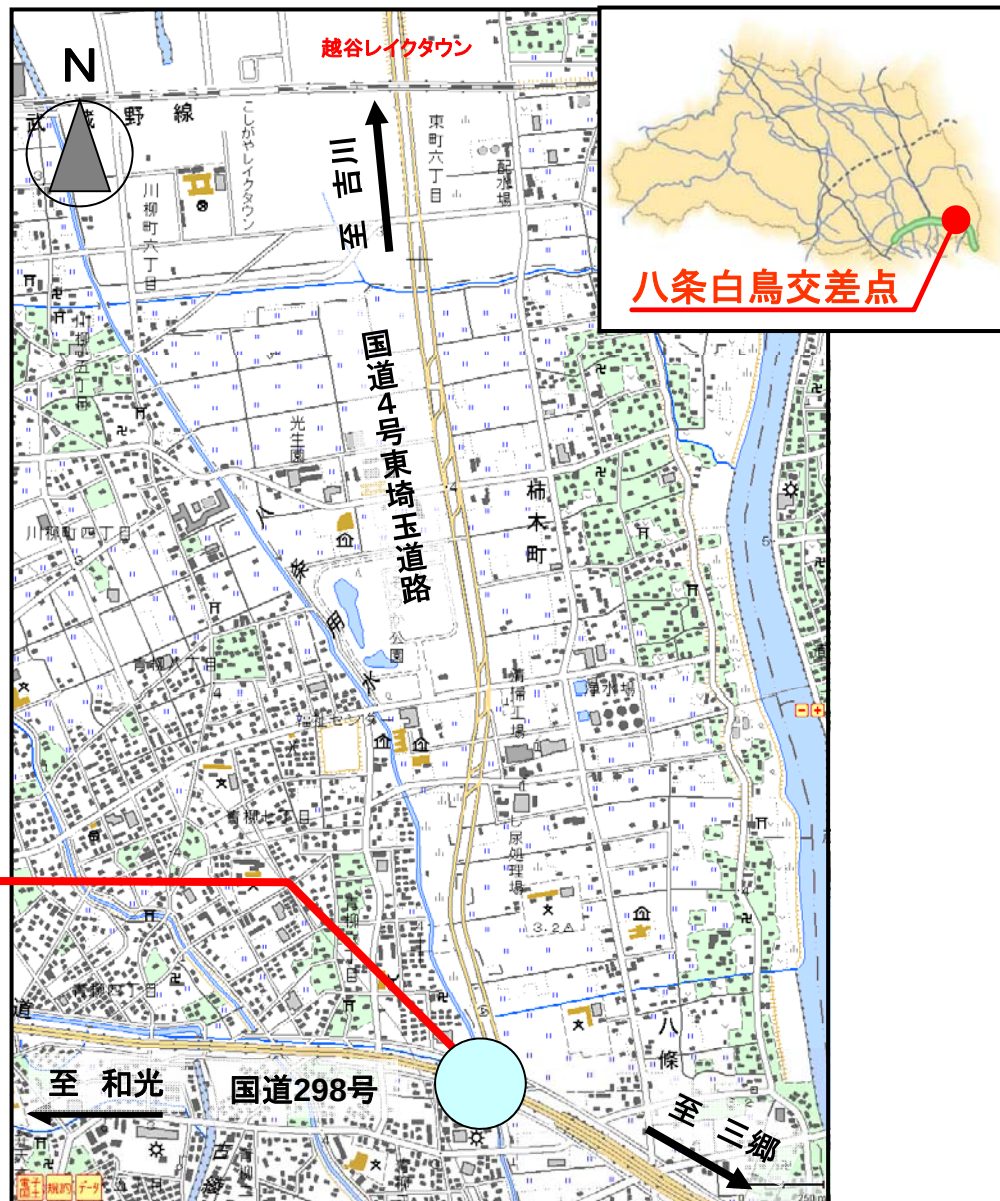
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

八条白鳥交差点について

国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

1. 八条白鳥交差点の概要

八条白鳥交差点





2. 箇所が抱える課題

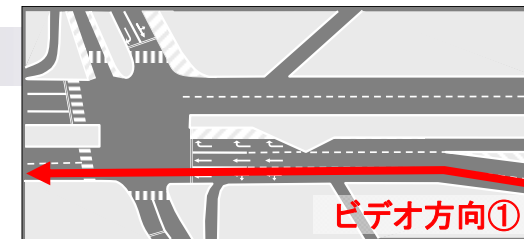
○【課題1】交通事故が多発

八条白鳥交差点では、過去5年間に31件の死傷事故が発生し、このうちの約6割が追突事故、約2割が右折事故である。

○【課題2】増加した交通量

外環より約2km北側の大規模開発（越谷レイクタウンH20.10月開店）に向かう交差点であり、近年交通量が増加している。

3. 交通事故発生状況



1. 追突事故

左折しようとする車両が遠くから見えにくい左折導流路があることに気づき急減速することにより、後続車両が追突

2. 右折事故

交差点形状が大きく、右折車両の走行導線が不明瞭なこと及び対向直進車を確認しづらいため、右折車両と直進車両と衝突

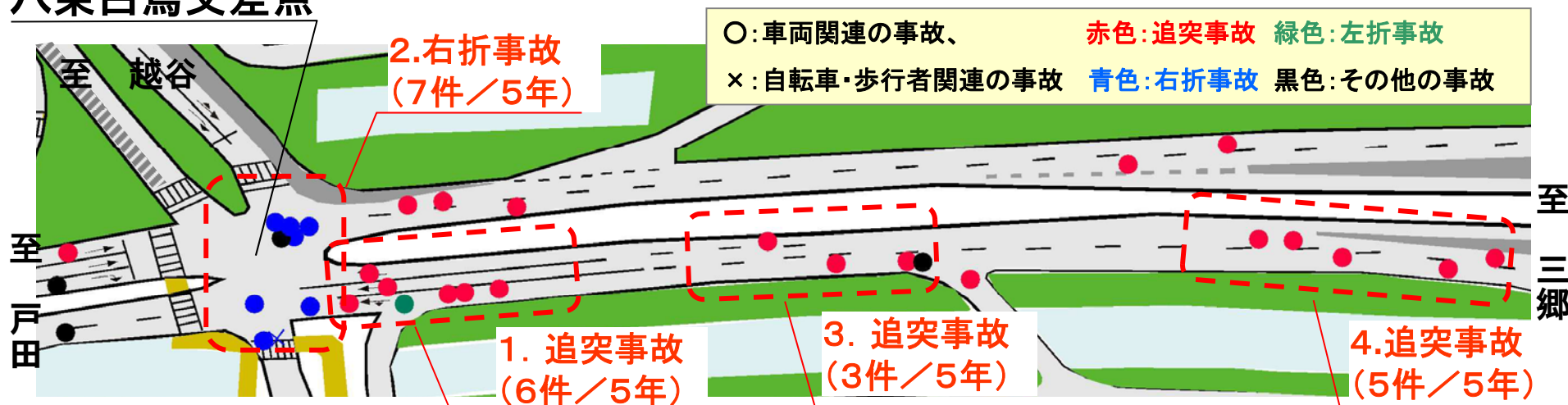
3. 追突事故

国道4号東埼玉道路への右折滞留長不足により、右折レーンからはみ出した車両へ、後続車両が追突

4. 追突事故

合流車両による危険を回避するため、急な停止や車線変更をする車両に、後続車両が追突

八条白鳥交差点



4. 整備方針(案)

交通の安全

- ✓多発する追突事故解消のため、交差点改良、合流車両の注意喚起により安全性の向上を図る。
- ✓多発する右折事故解消のため、国道4号および市道の相互の視認性の向上を図る。

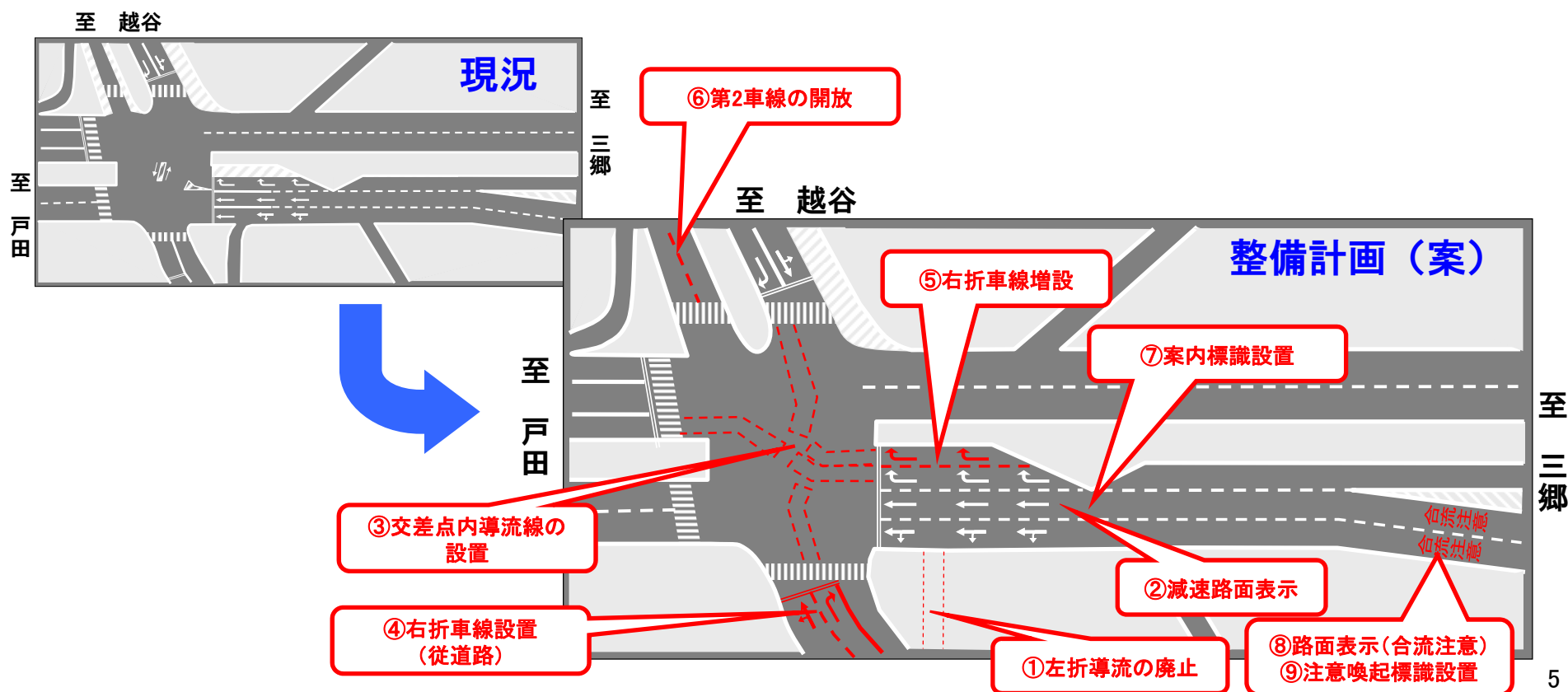
交通の円滑化

- ✓増加した交通量に対応するため、右折車線の処理能力を拡大し、交通の円滑化を図る。

5. 整備計画(当初案)

■対策案

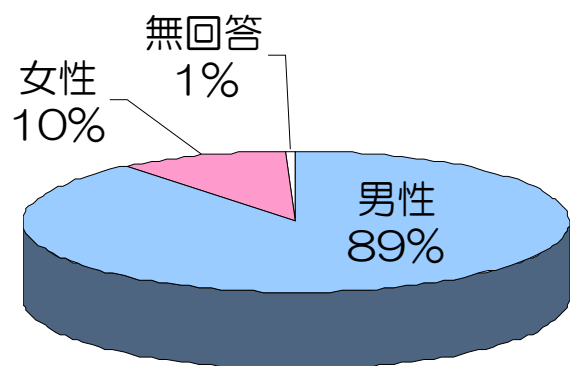
1. 追突事故：→ ①左折導流路の廃止、②減速路面標示
2. 右折事故：→ ③交差点内導流線の設置、④右折車線設置（従道路）
3. 追突事故：→ ⑤右折車線増設、⑥第2車線の開放、⑦案内標識設置
4. 追突事故：→ ⑧路面標示（合流注意）、⑨注意喚起標識設置



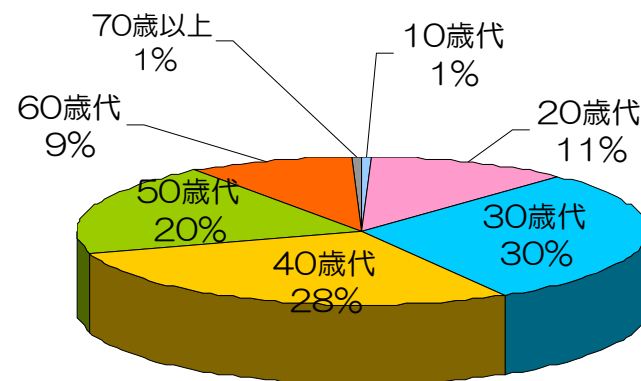
6. アンケート結果(属性)

【回答者属性】

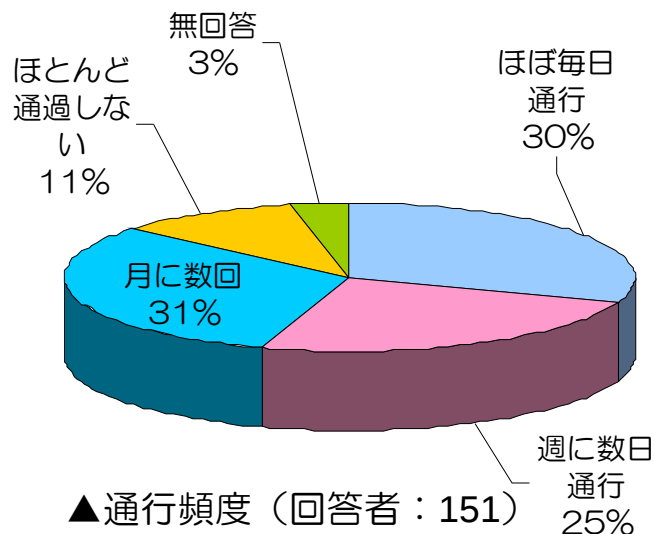
- ・ 男性、30～50歳代の回答が大半を占める。
- ・ 月に数回利用される方が最も多い。通行頻度の高い方の回答が多い



▲性別 (回答者：151)



▲年齢層 (回答者：151)



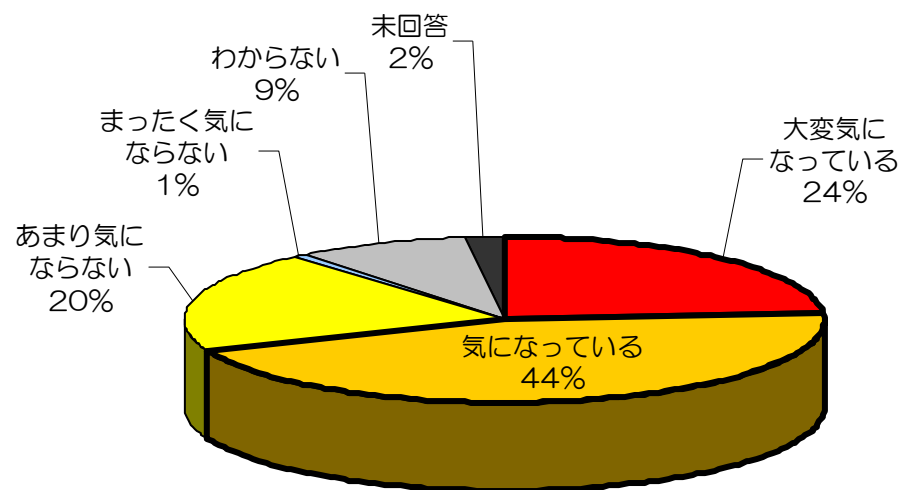
▲通行頻度 (回答者：151)

6. アンケート結果(課題の実感)

【設問】 八条白鳥交差点における下記の課題についてどのように感じていますか。

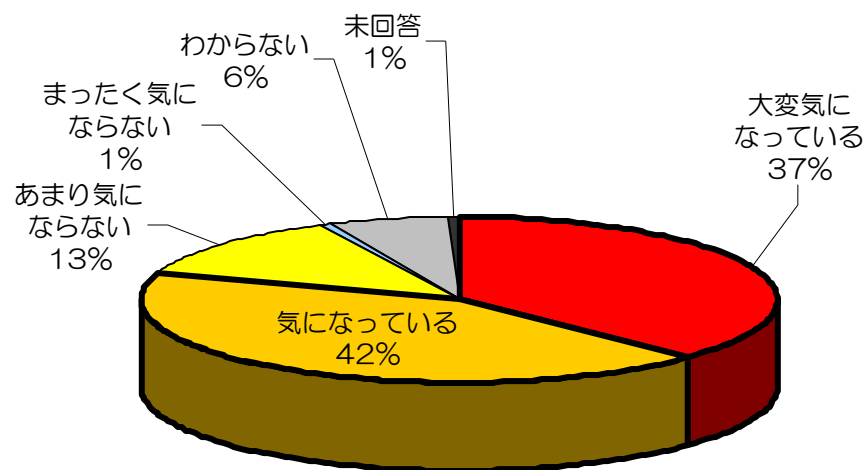
- ・ 交通事故の多発に関しては、**約7割**の回答者が気になっている
- ・ 交通量の増加に関しては、**約8割**の回答者が気になっている
- ・ 交通量の変化に伴う課題に対する意識が交通事故多発よりも高い

【課題①交通事故が多発】



(回答者:151)

【課題②増加した交通量】

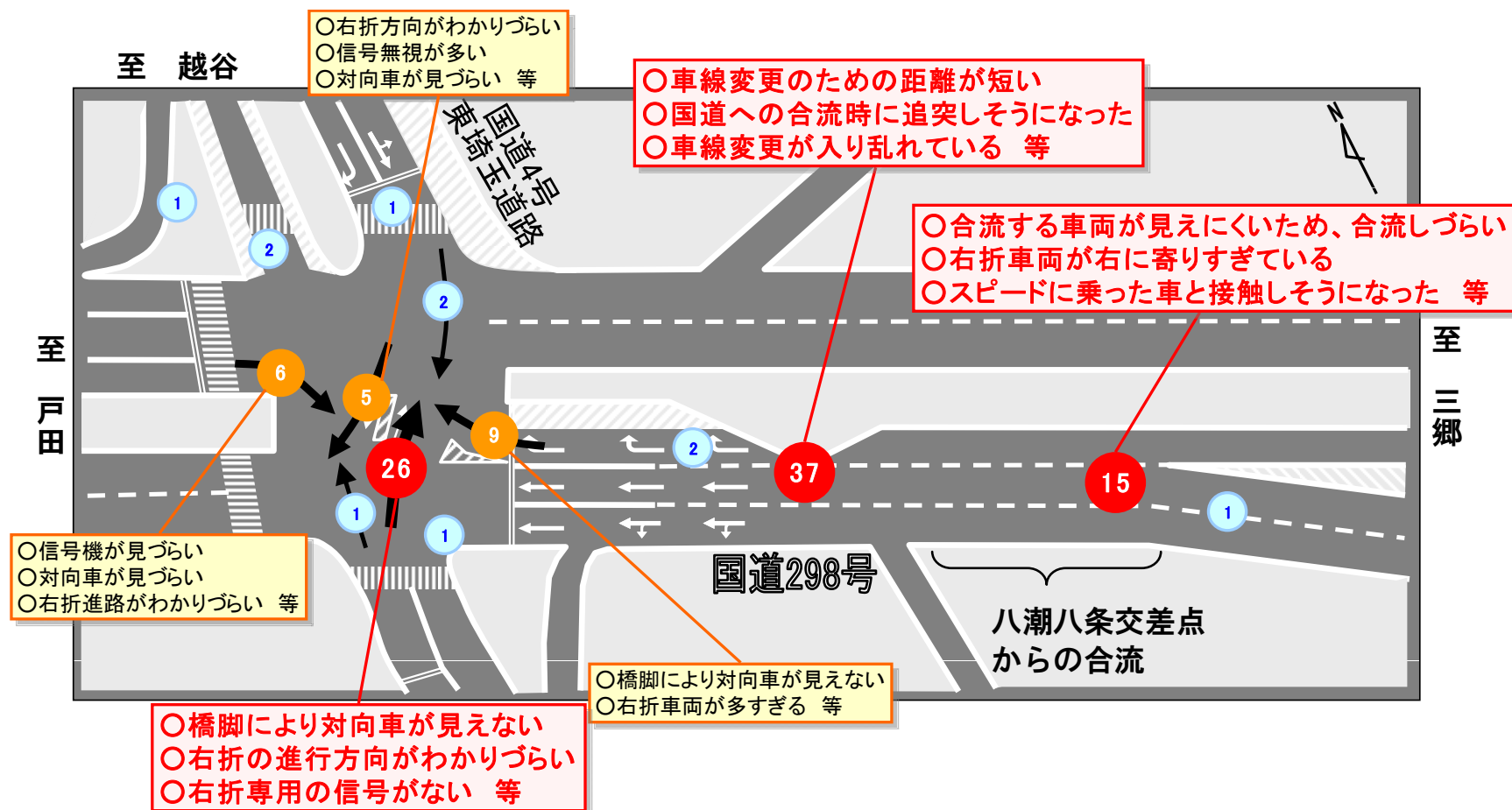


(回答者:151)

6. アンケート結果(その他課題)

【設問】 八条白鳥交差点を通行する際に、課題1、2以外の課題はございますか。(具体的な場所とその内容)

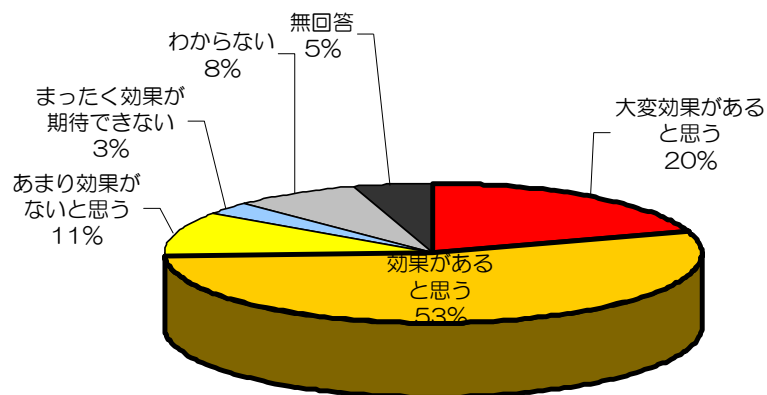
- ・ 合流部、右折レーン周辺、交差点内（特に市道から国道298号への流入） に対する意見が多い



6. アンケート結果(対策(案)の効果)

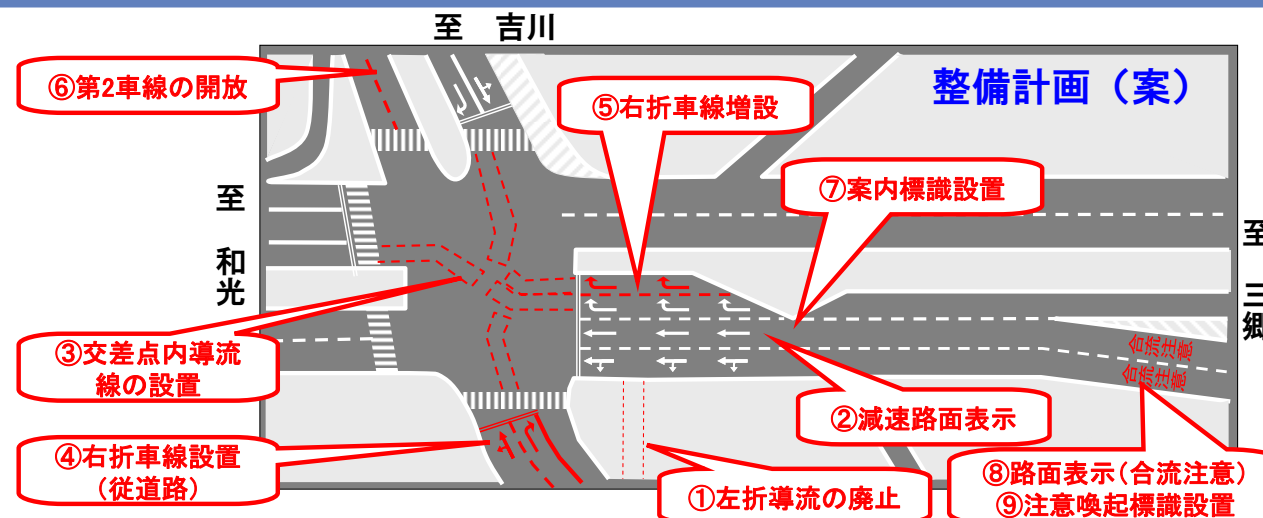
【設問】 八条白鳥交差点について検討会において意見交換した対策（案）は有効であると思われますか。

- ・ **約7割**の回答者が「効果があると思う」（大変効果がある、効果があるの合計）と回答



(回答者:151)

アンケートにて提示した内容



6. アンケート結果(対策(案)への意見)

【設問】 課題を解決するためのご提案や、掲載した対策（案）に関するご意見などがございますか。

- ・ 信号の改良・追加、右折レーンの改良、東埼玉道路の延伸・拡幅を要望する意見が多くいただいた
- ・ その他意見では、左折導流路廃止が不便であるとの意見が複数寄せられた

課題を解決するための対策の提案	意見数
信号の改良・追加 (サイクルの見直し、右折信号の追加)	13
右折レーンの改良 (レーン延伸、合流部との直結、右折車線の明示)	13
東埼玉道路の延伸・拡幅	6
交差点抜本的改良(立体化)	3
段差舗装	2
合流看板の増設	1
案内板の移設	1
減速注意の路面標示	1
交差点南進車両への注意喚起	1
側道からの合流部の変更	1
速度規制	1
大型車の通行規制	1
内回りの右折の禁止	1

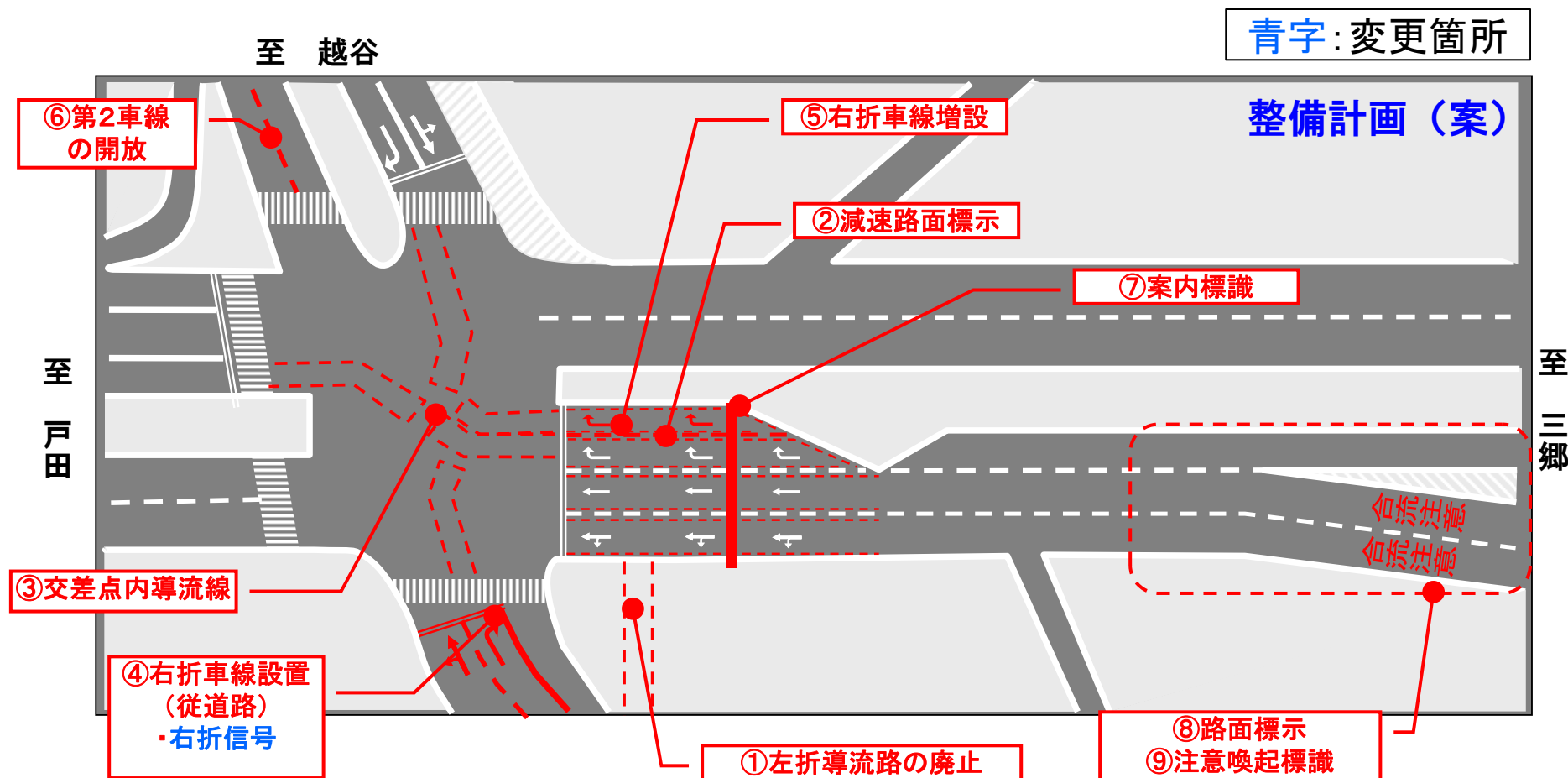
その他意見	意見数
左折導流路廃止は不便	7
効果を期待する	3
事故の増加が懸念	2
ドライバーの運転技術の向上	1
交差点内の滞留車両が懸念	1
工事による渋滞が迷惑	1
先を見据えた道路整備を希望	1
早急な整備を希望	1
標識の効果は薄いと思う	1
複雑な導流はやめてほしい	1
本線直進が混雑のため右折レーン増設は意味がない	1

回答者:53名(複数回答有)

7. 八条白鳥交差点の整備計画(修正案)

■対策案

1. 追突事故：→ ①左折導流路の廃止、②減速路面標示
2. 右折事故：→ ③交差点内導流線、④右折車線設置（従道路）・右折信号
3. 追突事故：→ ⑤右折車線増設、⑥第2車線の開放、⑦案内標識設置
4. 追突事故：→ ⑧路面標示（合流注意）、⑨注意喚起標識



8. 信号現示見直し案前後比較

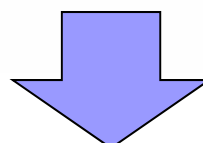
現況サイクル長

現況の信号サイクル長を以下に示す。

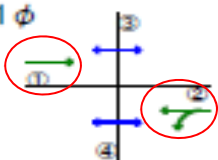
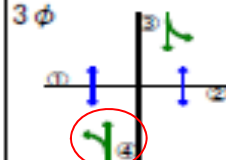
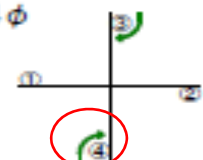
現示	1φ	2φ	AR	3φ	4φ	AR	サイクル長
							
	G:42 Y:4	G:11 Y:3	2	G:48 Y:4	G:12 Y:2	2	130

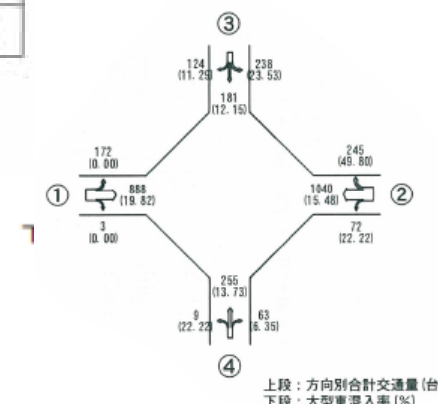
出典：H20 管内渋滞対策調査検討業務

調査日：平成 20 年 12 月 2 日 (火)



現示方式の図示

現示	1φ	2φ	3φ	4φ	
					
表示時間	G:43 Y:4 AR:0	G:12 Y:3 AR:2	G:47 Y:4 AR:0	G:11 Y:2 AR:2	C=130
有効青時間	45	13	49	11	G=118
損失時間	2	4	2	4	L=12
歩行者青時間	40	0	44	0	



国道298号上下右折および従道路の右折を分離。

9. 期待される効果

「①左折導流路の廃止、②減速路面標示」

⇒左折導流路手前で発生している追突事故減少が期待できる。

「③交差点内導流、④右折車線・右折信号の設置」

⇒交差点内の右折車両の整流化や、対向直進車に対する視認性向上され、交差点内の右折事故減少が期待できる。

「⑤～⑦右折レーン増設等」

⇒右折滞留長不足による渋滞末尾への追突事故減少や、交通の円滑化が期待できる。

「⑧路面標示、⑨注意喚起標識」

⇒連結側道からの合流車両を回避する車両との追突事故減少が期待できる。

松ノ木島交差点について

国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所





2. 箇所が抱える課題

○【課題1】交通事故が多発

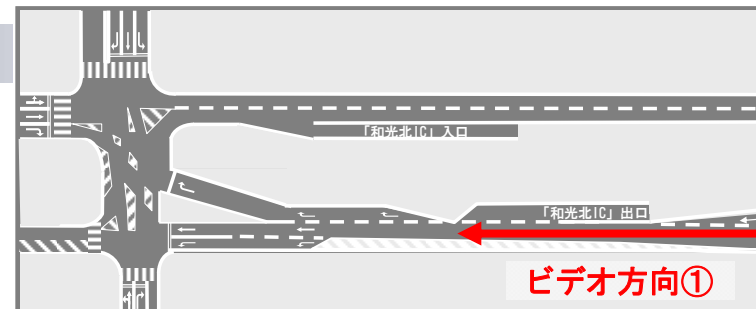
松ノ木島交差点付近の内回り（上り）において、追突事故が集中して発生している。（過去4年間に16件、H21年も4件発生）

内回りは見通しが良い下り勾配で速度超過しやすく、分合流部が連続していることなどから、追突事故が多発している。

○【課題2】慢性的な渋滞箇所

国道298号内回り（上り）では、右折・直進車線の交通容量不足により慢性的な渋滞が見られる。

3. 交通事故発生状況

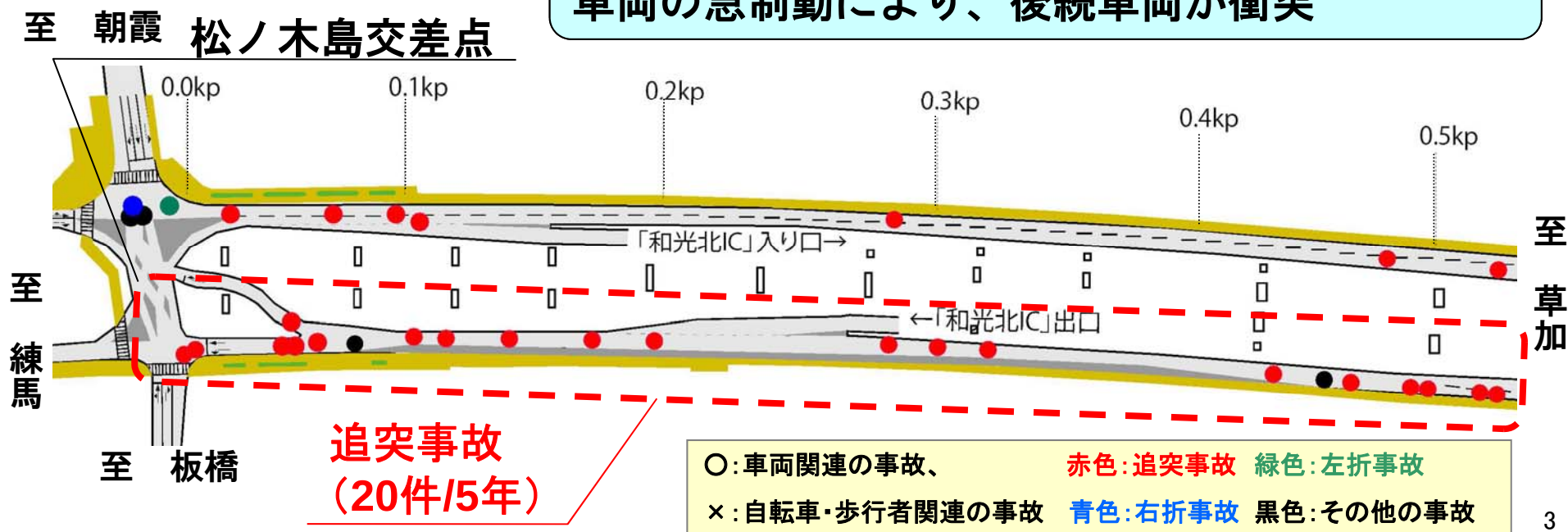


追突事故
(渋滞末尾への追突)

渋滞の末尾に、見通しのよい直線区間のため
高速走行となった後続車両が減速しきれずに追突

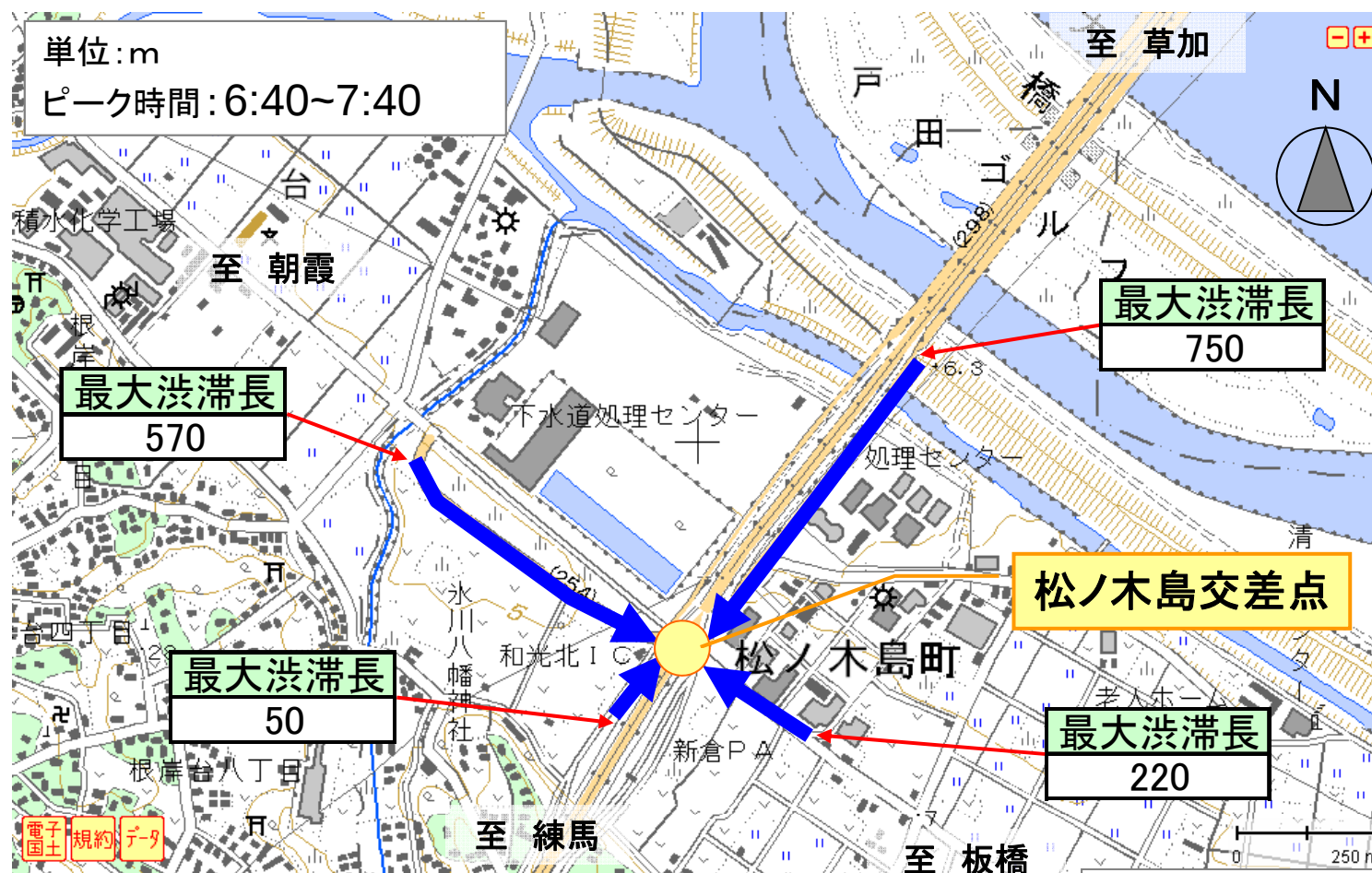
外環オフランプと交差点が近接しており、合流時
の安全確認不足等により、渋滞末尾に追突

車線減少により無理な車線変更による衝突や後続
車両の急制動により、後続車両が衝突



4. 渋滞発生状況

✓松ノ木島から幸魂大橋側、松ノ木島から朝霞方面に伸びる渋滞が慢性化している。



※図中の矢印はピーク時間内における最大渋滞長を表示

※渋滞長とは、信号が青になっても交差点を通過できない自動車全体の長さ(停止線から最後尾車両まで)



5. 整備方針(案)

交通の安全

- ✓多発する事故解消のため、速度抑制・注意喚起を図る。
- ✓交差点形状が複雑なため、分かりやすい方面案内により走行の安全性の向上を図る。

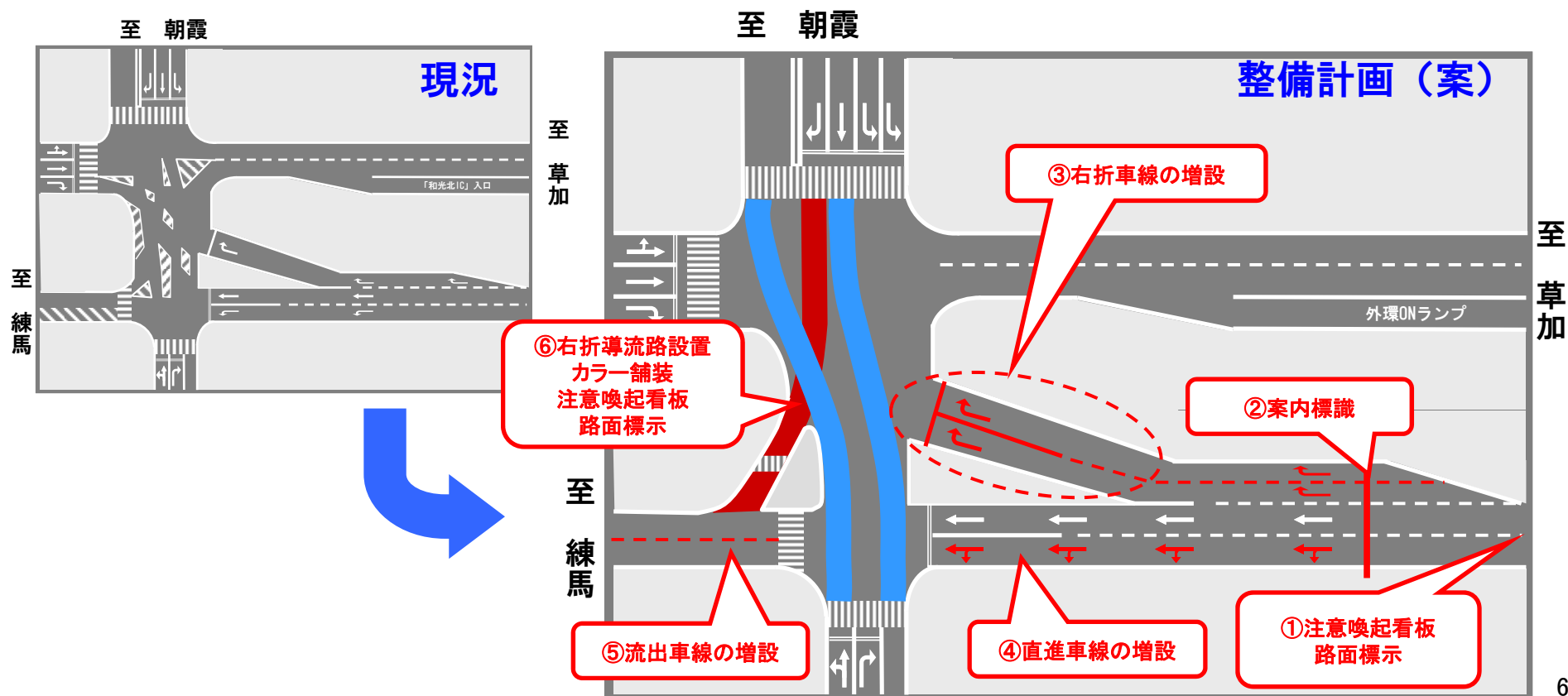
交通の円滑化

- ✓慢性的な渋滞を解消するため、交差点の処理能力を拡大し、交通の円滑化を図る。

6. 整備計画(案)

■対策案

1. 事故対策：→ ①注意喚起看板・路面標示、②案内標識
2. 渋滞対策：→ ③右折車線増設、④直進車線増設、⑤流出車線の増設
3. くい違い：→ ⑥右折導流路設置、カラー舗装、注意喚起看板・路面標示

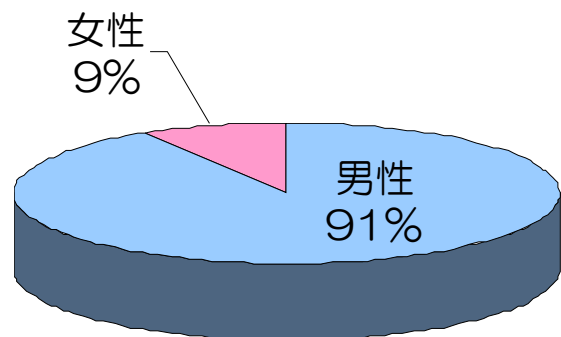


7. アンケート結果(属性)

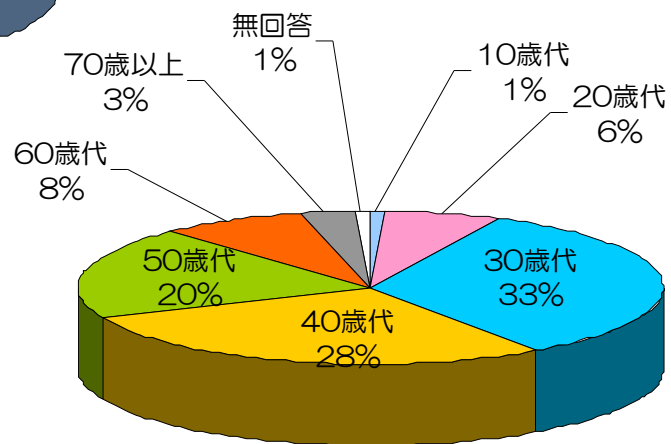
【回答者属性】

- ・ 男性、30～50歳代の回答が大半を占める。
- ・ 月に数回利用される方が最も多い。

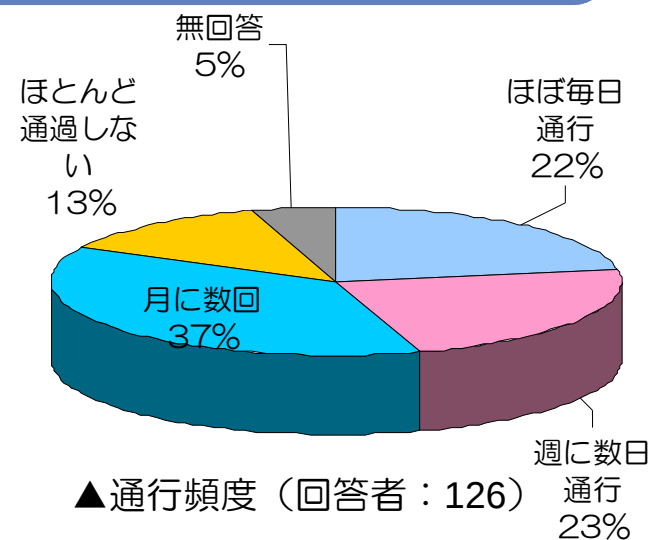
○アンケート対象
(交差点周辺企業：135社 郵送)
回収率45%



▲性別 (回答者：126)



▲年齢層 (回答者：126)



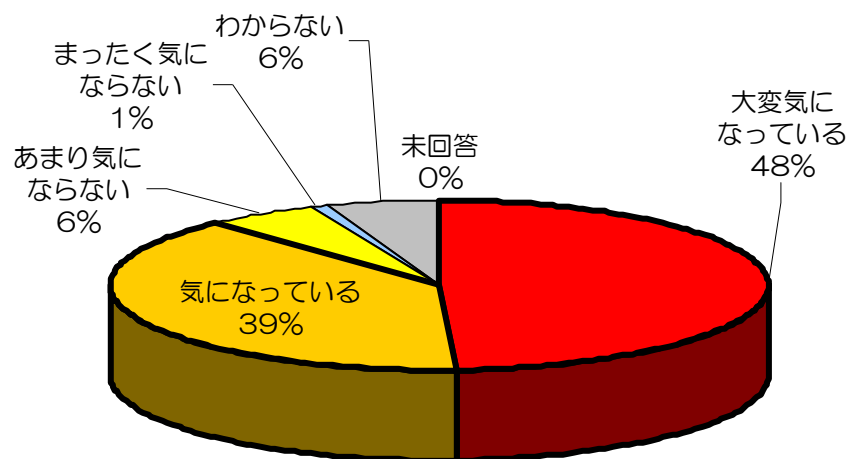
▲通行頻度 (回答者：126)

7. アンケート結果(課題の実感)

【設問】 松ノ木島交差点における下記の課題についてどのように感じていますか。

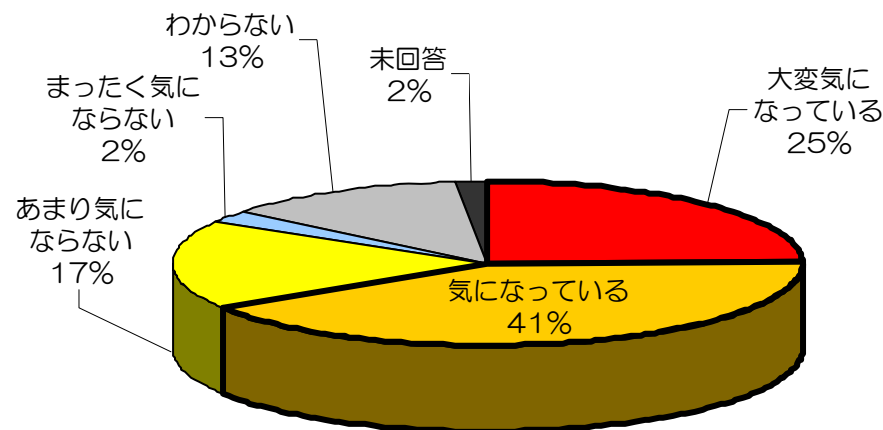
- ・ 慢性的な渋滞に関しては、**約9割**の回答者が気になっている
- ・ 多発する交通事故に関しては、**約7割**の回答者が気になっている
- ・ 特に渋滞に関する課題意識が非常に高い

【課題① 慢性的な交通渋滞が発生】



(回答者:126)

【課題② 多発する交通事故】

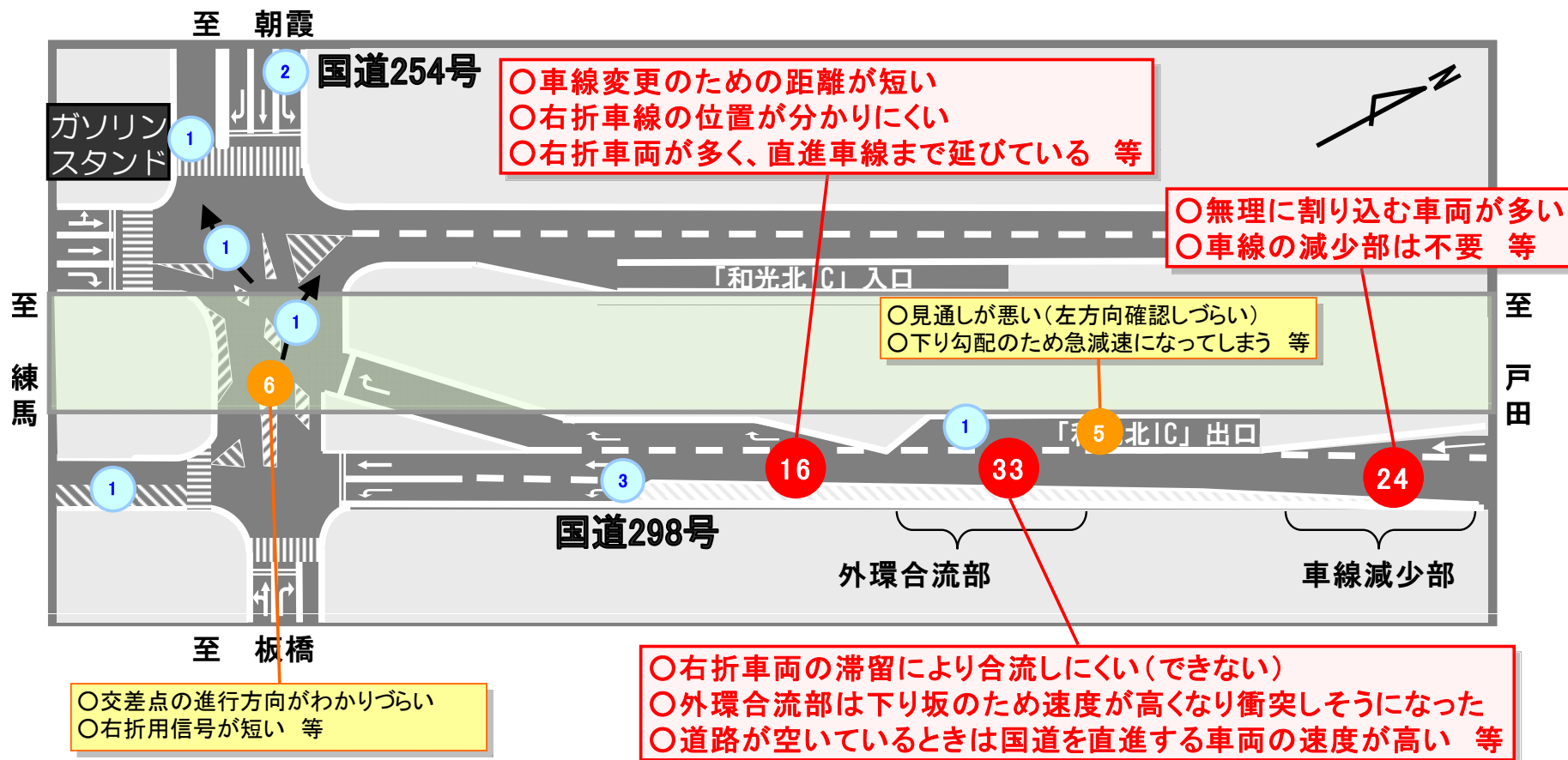


(回答者:126)

7. アンケート結果(その他課題)

【設問】松ノ木島交差点を通行する際に、課題1、2以外の課題はございますか。(具体的な場所とその内容)

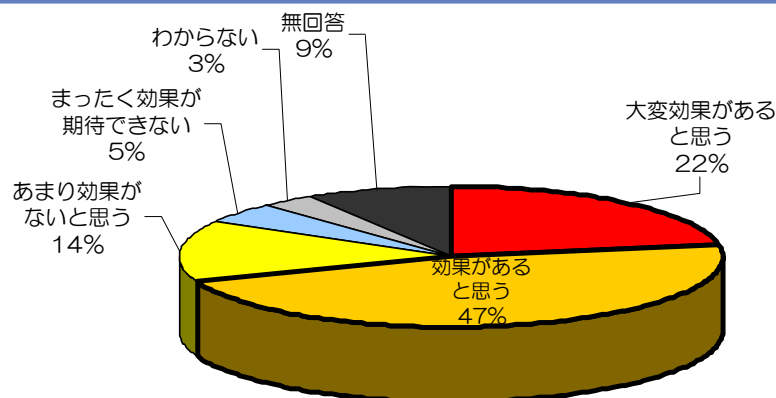
- ・ 外環合流部、右折レーン周辺、交差点内（特に市道から国道298号への流入）に対する意見が多い



7. アンケート結果(対策(案)の効果)

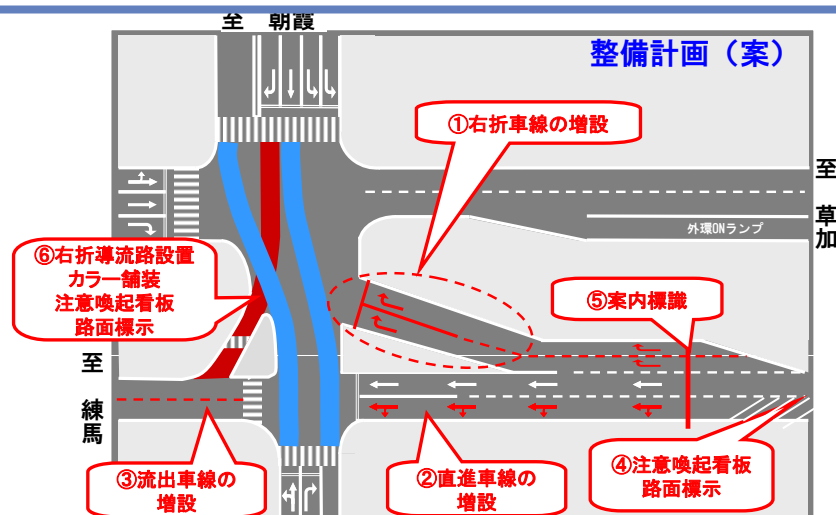
【設問】 松ノ木島交差点について検討会において意見交換した
対策（案）は有効であると思われますか。（複数回答可）

- ・ **約7割**の回答者が「効果があると思う」（大変効果がある、効果があるの合計）と回答



回答者:126

アンケートにて
提示した内容



7. アンケート結果(対策(案)への意見)

【設問】掲載した対策(案)に関するご意見や、課題を解決するためのご提案などがございますか。

- ・ 国道298号の2車線道路開放、右折レーンの改良、国道254号の拡幅、合流部の改善を要望する意見を多くいただいた

課題を解決するための対策の提案	意見数
国道298号の2車線開放	9
右折レーンの改良 (合流部との直結、右折車線の明示、停止位置の明示)	7
国道254号の拡幅	5
合流部の改善(延伸・位置変更・一時停止の設置)	5
交差点の立体化	3
標識の集約化・簡素化	3
外環出口の廃止	2
バイパスの早期全線開通	1
走行位置の明確化	1
段差舗装	1
左折導流路の設置	1

その他意見	意見数
早急な整備を希望	3
効果を期待する	3
5年前に比べ朝夕は円滑になったと思う	1
右折レーンの増設が効果的	1
交差点先の車線増設が懸念	1
渋滞が減ると思えない	1
常に渋滞しているわけでない。お金のムダ	1

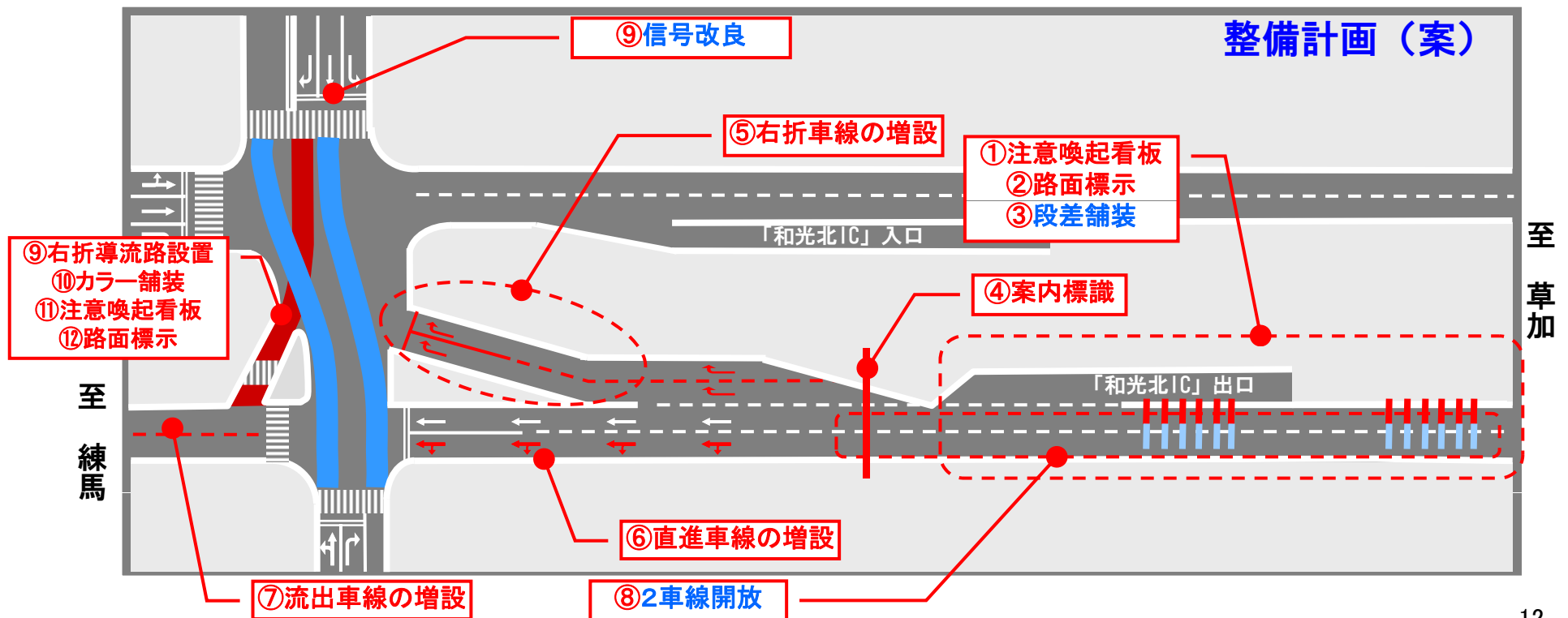
回答者:44(複数回答有)

8. 松ノ木島交差点における整備計画(修正案)

■対策案

1. 事故対策→①注意喚起看板、②路面標示、③段差舗装、④案内標識
2. 渋滞対策→⑤右折車線の増設、⑥直進車線の増設、⑦流出車線の増設、
⑧2車線開放
3. くい違い対策→⑨信号改良、⑩右折導流路設置、⑪カラー舗装、
⑫注意喚起標識、⑬路面標示

青字: 変更箇所



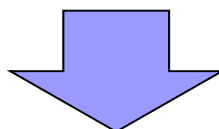
9. 信号現示見直し案前後比較案

現況サイクル長

現況の信号サイクル長を以下に示す。

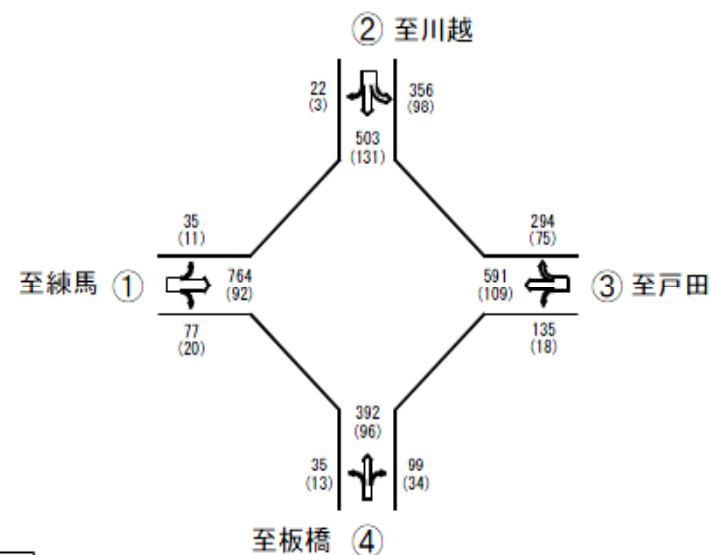
現示	1φ	2φ	3φ	4φ	
表示時間	G:51 Y:6 AR:0	G:6 Y:2 AR:3	G:45 Y:4 AR:2	G:24 Y:4 AR:3	C=150

出典:北首都国道管内交通事故安全対策検討業務 調査日:平成22年6月8日(火)



現示方式の図示

現示	1φ	2φ	3φ	4φ	
表示時間	G:56 Y:3 AR:4	G:7 Y:3 AR:4	G:41 Y:4 AR:3	G:18 Y:4 AR:3	C=150
有効青時間	61	8	42	19	G=130
損失時間	2	6	6	6	L=20
歩行者青時間	56	0	37	0	



上段:方向別合計交通量(台)
下段:大型車混入台数(台)

国道254号右折を分離および左折分離追加。



10. 期待される効果

「①注意喚起看板、②路面標示、③段差舗装」

⇒渋滞後尾や合流部付近で発生している追突事故等の減少が期待できる。

「④案内標識」

⇒円滑な車両の移動を促進し、交通の円滑化が期待できる。

「⑤～⑧車線の増設（2車開放含む）」

⇒交差点等の処理容量が拡大し、渋滞解消が期待できる。

「⑨～⑬右折導流路設置等」

⇒交差点内の整流化が期待できる。